

気になったら始めよう!

早く支援をすることの重要性

—乳幼児の発達と学習のつまずき—

気になることがあっても、相談する先が分からず、
なかなか支援に繋がっていない、というお声を耳にし、
また、学習においてもどのような子に支援が必要かなど、
理解が難しい部分も多いのが現状です。

「乳幼児期の発達」「学習のつまずき」に対する支援を題材とし、

正しい知識や支援のあり方について、保護者や支援者の方にお伝えしたいと思います。



オンライン開催

Zoom (ウェビナー)



参加費
無料

令和5年12月3日 日

13:00～16:00(入室可能12:45～)予定

定員 500名(予定) **要申込**

申込締切 11月24日(金)

対象

- 発達の遅れや学習障害のある
お子さん・気になるお子さんをもつ
ご家族・興味のある方
- 幼稚園・保育園・学校の先生
- ことばの教室や療育施設の
支援者・セラピストなど

申込方法は裏面をご覧ください



講演1

乳幼児期の遅れが気になる
お子さんへの支援

中部大学 生命健康科学部 作業療法科 講師
山田病院小児リハビリテーション 講師

塩津 裕康氏

講演2

学習のつまずきが気になる
お子さんへの支援

おくむらこどもクリニック 副院長

愛知淑徳大学 講師

山田病院小児リハビリテーション 講師

葛西 武司医師

板倉 寿明氏

主催 医療法人 和光会 山田病院

後援

岐阜市・本巣市・瑞穂市・岐阜市教育委員会
岐阜県言語聴覚士会・岐阜県作業療法士会

お問い合わせ 山田病院 リハビリテーション部

shoni-seminar@wakokai.or.jp

講師プロフィール

おくむらこどもクリニック 副院長 か さい たけ し 葛西 武司 医師

平成6年山口大学医学部卒、岐阜大学医学部小児科学教室入局、島根県にて小児科医として10年あまり島根医科大学(現島根大学)、隠岐病院、松江赤十字病院、公立雲南総合病院で勤務。木沢記念病院小児科を経て、平成26年より現職。おくむらこどもクリニックで発達とこころの外来を担当。

愛知淑徳大学 講師
山田病院小児リハビリテーション 講師

いた くら とし あき
板倉 寿明氏



3歳で発吃。「どもる自分」に悩みながら18歳まで郡上市で過ごし、自分への信頼回復をめざして上京。その後、1983年から岐阜県の特別支援学校に35年間勤務。2014年から4年間、岐阜本巣特別支援学校で校長を務め、2018年3月定年退職。2008年から岐阜吃音臨床研究会事務局長として学齢期の吃音児の支援に当たり、吃音が不幸ではないと思える生き方を提案している。

中部大学 生命健康科学部 作業療法科 講師
山田病院小児リハビリテーション 講師

し お づ ひ ろ や す
塩津 裕康氏



1985年三重県生まれ。2008年に作業療法士免許取得後、2015年に川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科にて博士(リハビリテーション学)を取得。2020年にInternational Cognitive Approaches Network (ICAN)から認定を受け、日本人初の認定CO-OPセラピストとなった。著書に『子どもと作戦会議 CO-OPアプローチ入門(クリエイツかもがわ)』などがある。

申込方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

※参加される方は各個人でお申し込みください。

- ① QR 右にあるQRコードを読み取り、必要事項を記入の上、送信。
- ② ホームページ 山田病院のホームページ(<https://www.yamada-hospital.jp/>)の吃音セミナー申し込みフォームより必要事項を記入の上、送信。

※不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

申込締切：令和5年11月24日(金)

申し込み
フォーム



Zoom(ウェビナー)の参加方法(定員:500名)

お申し込みいただいた皆さまへ、開催日の3日前までにセミナーへアクセスするための招待メールをお送りします。セミナー当日、招待メールに記載のURLよりセミナーへご参加ください。



お問い合わせ

山田病院 リハビリテーション部

✉ shoni-seminar@wakokai.or.jp